

トピック ーはくさいの需給動向 ー

はくさいは、4月上旬までは価格が高騰していたが、中旬以降は入荷量が増加し、概ね平均価格を下回って推移している。

これは、

- ① 5月は、茨城産の生育が後ろにずれこみ、入荷量が増えたこと
- ② 6月は、夏場に向けて需要が減少する中で、茨城産の残量と長野産の生育が順調だったことから、安定した入荷量になったことによる。

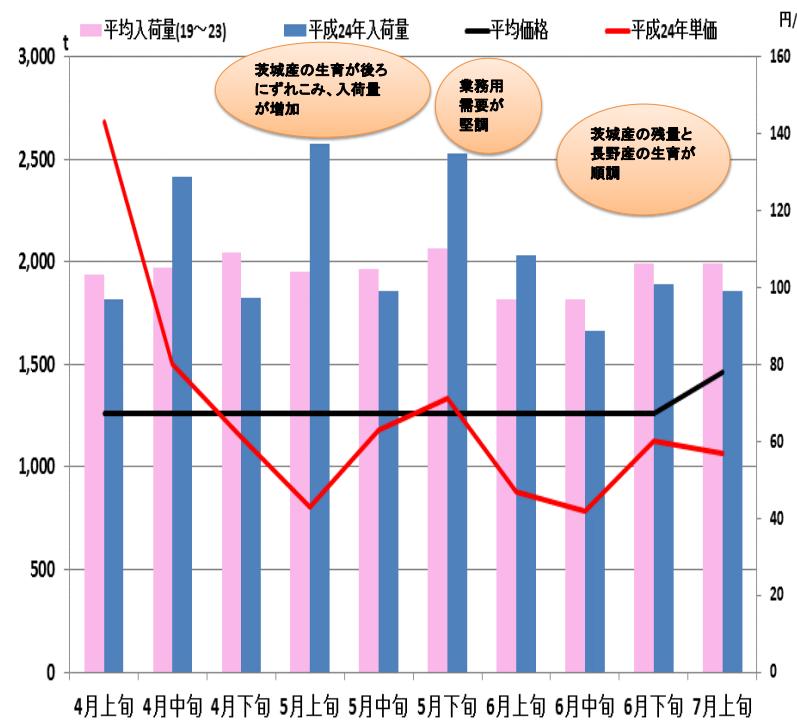
そうした中、5月下旬に一時的に平均価格を上回る状況となつたが、これは漬物の売れ行きに伴い、一時的に業務用需要が旺盛であつたことによるものである。

はくさいは、冬の野菜のイメージが強く、夏場の消費が厳しい中で、夏はくさいの主産地である長野県等の生産が順調であることから、価格は今後とも平年を下回って推移すると見込まれる。

なお、はくさいの小売価格と購入数量の関係は、年間を通してみると、価格が安いと購入数量が増加する傾向があるものの、夏季に限定してみると、価格に関係なく購入数量がほぼ一定であることが分かる。

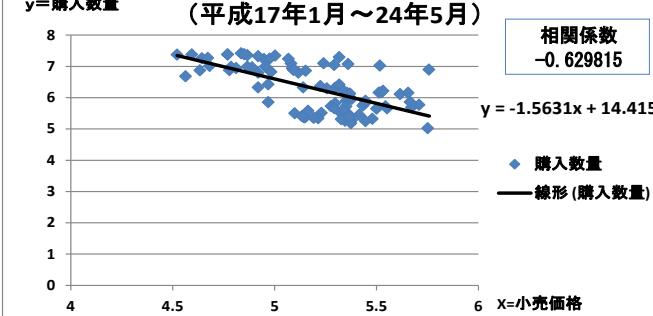
こうしたことを十分に念頭に置いて供給体制を構築することが重要になっている。

はくさいの入荷量と卸売価格の推移 (4月上旬～7月上旬、東京都中央卸売市場)

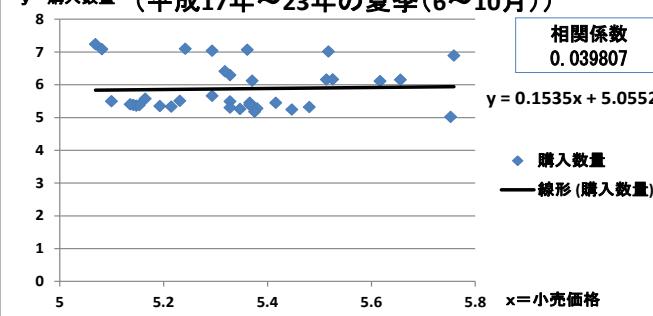


資料：青果物情報センター

はくさいの小売価格と購入数量の関係 (平成17年1月～24年5月)



はくさいの小売価格と購入数量の関係 (平成17年～23年の夏季(6～10月))



●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、須藤、山田 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。

◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方はページのトップ画面、メルマガ配信登録・解除ボタンから登録してください。

★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、http://vegetan.alic.go.jp/vegetable_report.html に掲載しています。

上図は、平成17年～24年5月のはくさいの小売価格（総務省「小売物価統計調査報告書」（東京都区部））と購入数量（総務省「家計調査（二人以上世帯（農林漁家世帯を除く））」）の相関をみた。

下図は、平成17年～23年の夏季（6～10月）のはくさいの小売価格（総務省「小売物価統計調査報告書」（東京都区部））と購入数量（総務省「家計調査（二人以上世帯（農林漁家世帯を除く））」）の相関をみた。